



# 桐生みどりブロック委員会ニュース

## ～コロナ禍における組合員活動について～

群馬県の警戒レベルがレベル3に引き下げになるまで組合員活動は中止になります。

今後の活動・企画についてはコロナの状況によりブロック委員会ニュース等でお知らせいたします。

※2月のブロック商品委員会は中止になります



## ～食品ロス削減のために、できることから始めよう～

**2050年には、食品ロスを「ゼロ」に!**

家庭の食事だけでも、一人当たりの食品ロス量を試算すれば、一年間で24.6キログラムに及び、お茶碗164杯分のごはんに相当します。

(※茶碗一杯分のごはんを150グラムと仮定)

一人一人が「もったいない」を意識して、日頃の生活を見直すことが重要です。

**大切なのは、一人一人が「もったいない」を意識して行動すること**

### お買物

#### ①買物前に、食材をチェック

買物前に、冷蔵庫や食品庫にある食材を確認する  
▷メモ書きや携帯・スマホで撮影した画像が有効

#### ②必要な分だけ買う

使う分・食べられる量だけ買う  
▷食品ロスが多いのは野菜などの生鮮食品  
▷必要以上に買った場合は、冷凍保存も活用する

#### ③期限表示を知って、賢く買う

利用予定と照らして、期限表示を確認する  
▷すぐ使う食品は、棚の手前から取る【てまえどり】



## コープデリ宅配の

### 珪藻土関連商品について

市販の珪藻土から、法令の基準値を超えるアスベストが検出されたとの報道がありました。

コープデリ宅配で取り扱いのある珪藻土製品104品について調査したところ、全ての製品にアスベストの含有が無いことを確認しました。

皆さま、安心してご利用ください。

## コープデリでんきにご契約中の皆さまへ

### ～電力市場価格高騰に関する報道について～

コープデリでんきの電気料金プランは「市場連動型」ではありませんので、市場価格の高騰により、基本料金や使用電力量単価があがることは

ありません。

引き続き安心してご利用ください。



### 調理

#### ①食材を上手に使いきる

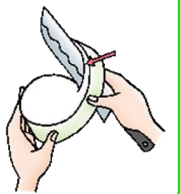
▷残ってる食材から使う  
▷「いつか食べる」食品は食品ロス予備軍

#### ②野菜や果物の皮は厚むきしない

▷生ゴミは減って、栄養は増える

#### ③食べきれぬ量を作る

▷体調や健康、家族の予定も配慮する



## 2月のおすすめ商品



☆群馬県前橋産大豆使用もめん豆腐 400g

参考価格140円

群馬県前橋産の大豆を使用し、大豆の風味豊かなもめん豆腐に仕上げました。お鍋にも冷奴にも、いろいろな料理に安心してご利用いただけます。



※宅配でのお取り扱いはまだ未定です

☆カカオ70%チョコレート 100g

参考価格298円

レインフォレスト・アライアンス認証のカカオ70%チョコレートです。ガーナ産とコートジボワール産の2種類のカカオをブレンドした濃厚でコクがあり、華やかな香りと上品な甘みを感じられるハイカカオチョコレートです。



※宅配でのお取り扱いはまだ未定です



# 4つのプロジェクト

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



4つのプロジェクトは、コープ商品の利用を通じて持続可能な社会を目指す取り組みです。環境、社会や人々に配慮した商品を運ぶことが、社会が抱える課題の解決につながります。ふだん手にとる商品が、持続可能な社会づくりにつながっています。

4つのプロジェクトは、SDGs(持続可能な開発目標)につながっています。SDGsの目標を目指す2030年まで、コープデリグループはこれからも助け合いの組織として、誰一人取り残さない持続可能な社会を目指していきます。

## 美ら島応援もずくプロジェクト



沖縄県伊平屋島のもずく商品1点をお買い上げにつき1円を「美ら島応援基金」に寄付し、島の美しい自然環境を保護する活動に役立てています。

「美ら島」伊平屋島は、沖縄県最北端にある島です。豊かな自然環境の中で養殖するもずくは島の特産物。コープは、1987年から伊平屋島のもずくを販売し、島と交流を重ねています。しかし…近年、伊平屋島の砂浜に海から大量のゴミが流れつき問題になっています。伊平屋島の海にはウミガメが回遊し、砂浜は貴重な産卵地です。ゴミが漂着して砂浜に上陸できないと産卵することができません、島をあげてビーチクリーン(海岸清掃活動)を行い、漂着したゴミを集めていますが、島には集めたゴミを処理する施設がなく、沖縄本島まで船で運ばなくてはなりません。その費用は島にとって大変な負担になります。コープデリは、2010年より「美ら島応援もずくプロジェクト」をスタート。もずくの売り上げの一部を島に寄付する取り組みです。寄付金は漂着ゴミの運搬・処理や砂地の浄化など、自然環境保護活動に活用されます。おかげさまで2020年、プロジェクトは10周年を迎えました。

## 佐渡トキ応援お米プロジェクト



新潟佐渡コシヒカリ商品の売り上げの一部を「佐渡市トキ環境整備基金」に寄付し、環境にやさしい佐渡米づくりや生きものをはぐくむための環境づくりに役立てています。

佐渡では、トキをはじめとするさまざまな生きものと共生できる農業が進められています。今日では、トキの餌となる生きものたちが田んぼに戻ってきており、400羽近いトキが佐渡の空を羽ばたいています。コープデリは、1994年から佐渡米を販売し、27年にわたり生産者と親交を重ねてきました。「佐渡米を食べて生産者を応援したい」という想いのもと、2010年より「佐渡トキ応援お米プロジェクト」をスタート。「CO・OP産直新潟佐渡コシヒカリ」とその加工品の売り上げの一部を「佐渡市トキ環境整備基金」に寄付する取り組みです。寄付金は生きものと共生する米づくりをささえることにつながります。

## お米育ち豚プロジェクト



飼料用米を配合したエサを豚に与え、おいしい豚肉を組合員にお届けすることで、日本の米づくりをささえ、畜産を元気にしています。

日本の1人当たりのお米の年間消費量は、約50年で半分以上も減っています。お米の消費量が減ると農家さんも困り、お米づくりを休んだり辞めなければならず、田んぼも荒れ果ててしまいます。田んぼはお米を育てる役割だけでなく、景観の美しさ、洪水の防止、生命の住処など、たくさんの機能を持っています。そこで田んぼを守り日本のお米づくりを支えるため、コープデリではお米の生産者さんと協力して休ませている田んぼで豚のエサ用のお米をつくることを考え、豚の生産者さんにも協力をお願いしました。日本の食と農業、そして畜産を元気にしたいという想いのもと、お米育ち豚プロジェクトをスタートさせたのでした。

## ハッピーミルクプロジェクト



コープマークの牛乳の売り上げの一部をユニセフに寄付し、アフリカの子どもの栄養改善を支援しています。

同じ地球上で同じ時間を生きているのに、栄養不足で苦しんでいる子どもたちがいます。誰もが健康で幸せな生活を送れるようにするためにコープデリグループは2008年に「ハッピーミルクプロジェクト」をスタート。コープ牛乳を手にとることが、アフリカの子どもの笑顔につながります。

- ①子どもたちの栄養補助食を届けます
  - ②栄養改善の拠点を作ります
  - ③母親たちに栄養・育児の知識を広げ栄養に対する意識や行動の改善を促します
- みんなでコープの牛乳を飲んで応援しましょう！

【お問合せ】 コープぐんま 総合企画室 ☎0120-52-9638 担当：木村